

2006年(平成18年)2月2日(木曜日)

個人情報保護に商機

画像選び「パスワード」 磁力でデータ復元防ぐ 名簿なしでも行事連絡

関西のベンチャー企業(VB)で個人情報保護ビジネスに参入する動きが広がってきた。数字の代わりに写真などの画像をパスワードにして本人認証するシステムや、廃棄するパソコンのデータ消去といった新手の事業が相次いで登場。昨年の個人情報保護法施行に伴う自治体や企業などの需要増に応える。関西のVBが得意とするロボットやバイオテクノロジに続く有望市場に成長しそうだ。

関西のVB、続々参入

ニーモニックセキュリティ 憶認証」と呼ぶ本人認証
ティ(大阪市、国米仁社 システム。自分で撮影し
長)が開発したのは「記 た思い出の写真や友人の

顔といった画像を、ネット
ト通販などのパスワード
代わりに使う。

複数の画像を順番に選んでパスワード代わりにする
ニーモニックセキュリティの記憶認証画面



主な個人情報保護VB

- ▼ニーモニックセキュリティ
数字やアルファベットの代わりに画像をパスワードにして本人認証
- ▼バイオニクス
指先の静脈を読み取って本人認証
- ▼プラットフォーム・オブ・ジャパン
廃棄するパソコンの内部データが漏れるのを防止
- ▼ヤノ電器
パソコンのデータ消去装置をレンタル
- ▼ロジック (エレコムの子会社)
ロック機能が付いた外付けハードディスク
- ▼ライナック
連絡したい相手だけを選んで携帯電話のメールを一斉配信
- ▼ネクサス (ジャスタック上場)
企業向けに、ウェブサイトの個人情報管理証明マーク「TRUST e」の取得を支援

複数の画像を登録しておき、例えば携帯電話やパソコンの画面に「1」「2」などと入力する代わりに「鈴木くんの写真」「中村くんの写真」といった順番で画像をクリックする。「魚釣りが上手なのは鈴木、中村……の順」という具合に記憶して、遊び感覚でパスワードを入力できる。